

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和6年6月18日(2024.6.18)

【公開番号】特開2023-175628(P2023-175628A)
 【公開日】令和5年12月12日(2023.12.12)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-233
 【出願番号】特願2023-46568(P2023-46568)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81(2006.01)

10

A 6 1 K 8/73(2006.01)

A 6 1 K 8/84(2006.01)

A 6 1 K 8/365(2006.01)

A 6 1 Q 5/12(2006.01)

【FI】

A 6 1 K 8/81

A 6 1 K 8/73

A 6 1 K 8/84

A 6 1 K 8/365

A 6 1 Q 5/12

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年6月10日(2024.6.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

水性組成物の製造方法であって、

前記水性組成物が(A)カチオン性ポリマー、(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、(D)酸、及び水を含む含有し、

前記製造方法が下記工程1～工程3を順に有する、水性組成物の製造方法。

工程1：(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、及び水を含む混合物1を調製する工程

工程2：前記混合物1と、(D)酸又はその水溶液とを混合し、(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、(D)酸、及び水を含む混合物2を調製する工程

工程3：前記混合物2と、(A)カチオン性ポリマーとを混合する工程

【請求項2】

40

乳化組成物の製造方法であって、

前記乳化組成物が(A)カチオン性ポリマー、(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、(D)酸、油性成分、及び水を含む含有し、

前記製造方法が下記工程1～工程3と、工程4-1又は4-2のいずれかをと順に有する、乳化組成物の製造方法。

工程1：(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、及び水を含む混合物1を調製する工程

工程2：前記混合物1と、(D)酸又はその水溶液とを混合し、(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、(D)酸、及び水を含む混合物2を調製する工程

工程3：前記混合物2と、(A)カチオン性ポリマーとを混合し、(A)カチオン性ポリ

50

マー、(B)アニオン性ポリマー、(C)ノニオン性ポリマー、(D)酸、及び水を含む混合物3を調製する工程

工程4-1:水を含む水性相と、油性成分を含む油性相とを混合して乳化物を調製し、次いで、該乳化物と前記混合物3とを混合する工程

工程4-2:前記混合物3と、水を含む水性相とを混合し、次いで、油性成分を含む油性相とを混合して乳化する工程

【請求項3】

前記油性成分が(E)カチオン性界面活性剤及び(F)高級アルコールを含む、請求項2に記載の製造方法。

【請求項4】

前記成分(B)が(B1)(メタ)アクリル酸由来の構成単位を含む架橋型重合体、及びアニオン性多糖類からなる群から選ばれる1種以上を含む、請求項1又は2に記載の製造方法。

【請求項5】

前記成分(B)がさらに(B2)前記成分(B1)以外のアニオン性ポリマーを含む、請求項4に記載の製造方法。

【請求項6】

前記組成物中に含まれる前記成分(B)に対する前記成分(A)の質量比 $[(A)/(B)]$ が1.0以上3.0以下である、請求項1又は2に記載の製造方法。

【請求項7】

前記成分(B1)と前記成分(B2)との合計量に対する前記成分(B2)の質量比 $[(B2)/\{(B1)+(B2)\}]$ が0.01以上1.0以下である、請求項5に記載の製造方法。

【請求項8】

前記組成物中に含まれる前記成分(A)及び前記成分(B)の合計含有量が0.02質量%以上5.0質量%以下である、請求項1又は2に記載の製造方法。

【請求項9】

前記組成物中に含まれる前記成分(A)及び前記成分(B)の合計量に対する前記成分(C)の質量比 $[(C)/\{(A)+(B)\}]$ が0.2以上2.0以下である、請求項1又は2に記載の製造方法。

10

20

30

40

50